



政治は国民のもの

自民党

国を
つくる。
思える

第51回
衆議院議員選挙
政党ビラ A7
東京都選管

「日本人で
良かった」と

環境大臣 としてパリ協定締結

東京オリ・パラ担当大臣 としてコロナ禍での大会成功

国会議員としてのこれまでの取り組み

認知症施策／女性活躍推進／ひとり親家庭の支援／熱中症対策

私も丸川さんを
応援しています！

衆議院議員候補 東京第7区

まるかわ・たまよ

丸川珠代

今は、日本の転換点。皆様と共に、希望ある日本の未来をつくり上げます。

私

丸川珠代は、政治家の事情が優先され、国民が後回しになる政治に終止符を打ちたい。

本当に守るべきは、日本の国民を第一に考える政治です。高市総理の掲げる「17 の戦略分野」には、私が取り組んできたゲノム医療やバイオ産業も含まれています。しかし、制度や財政の壁によって、その成果が十分に日本人のもとへ届いていない現実があります。日本で生まれた技術や挑戦が、日本人の豊かさと幸せにつながる国へ。必要なのは、古い理念を改め、政策を大胆に転換する覚悟です。私は、日本国民にとって必要な政策に全力で取り組みます。

Profile

of Tamayo Marukawa

- 1971年1月19日生まれ。55歳。18歳まで神戸市で育つ
- 夫と13歳の息子との3人家族。趣味は神社巡り
- 1993年、東京大学経済学部を卒業後、テレビ朝日アナウンサーとして「ビートたけしのTVタックル」「朝まで生テレビ」などを担当
- 2007年、参議院議員に初当選。厚生労働大臣政務官、環境大臣兼内閣府特命担当大臣（原子力防災）を歴任
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当国務大臣を務める
- 2023年、先頭に立ち取組んできた「ゲノム医療推進法」「認知症基本法」が成立
- 2024年、ひとり親家庭連事務局長として取組んだ「養育費確保のため民法改正」が実現
- 2026年4月より、上記民法改正に伴う「法定養育費制度」「養育費先取り特権」が施行



強く豊かに、
日本列島を、

共に、
高市総理と



日本列島を、強く豊かに。高市総理と共に、「日本の未来は明るい」「日本にはチャンスがある」皆が自信を持ってそう言える、そう実感できる社会をつくりたい。私、丸川珠代は、他国に振り回されず、自らの力で稼ぎ、日本国民を守れる日本の実現へ、挑戦し、決断し、行動します。

1 日本の繁栄を再び頂点へ

賃上げ、投資減税、社会保障改革で
手取りを増やす

高市総理が断行する「**戦略的な財政出動**」により、物価高を上回る持続的な賃上げと、投資減税による所得倍増を強力に推進。社会保障制度改革とあわせて手取りを増やし、**家計のゆとり最優先**で政策に取り組めます。

イノベーションで国民を豊かに

渋谷区恵比寿に開設する「グローバルスタートアップキャンパス」を拠点に、私が長年取組んできたバイオ・ライフサイエンス産業ははじめとするディープテック*の事業化・社会実装を港区・渋谷区から加速。日本発のイノベーションで日本人を豊かにします。

*ディープテックとは基礎科学・工学に根ざし、社会課題を解決し産業構造を変える潜在力を持った先端技術分野。投資規模から民間投資だけでは事業化しにくい。

日本の「稼ぐ力」を育てる

バイオ・A.I.など新たな産業を支える人材育成、リスクリングを国主導で強化。特に超高齢化社会を支えるボリュームゾーンである団塊ジュニア世代の活躍を、国が強力にサポートします。複数年度にわたる大胆な財政出動にコミットし、世界から我が国へ富を集める産業と人材を育て、日本を繁栄の頂点へと押し上げます。

2 自律した国家の確立

経済安全保障

他国からの経済的威圧や不当な介入を許さず、志を同じくする欧米、オセアニア諸国と多角的に連携し、大国に振り回されない国際秩序を日本が先導します。レアメタル・医薬品など重要物資の供給網を自国でコントロールできる「**戦略的自立性**」を確保するとともに、宇宙・海洋等の先端領域への投資を強化。食料・エネルギーの安定確保に向けた抜本的な国内基盤の整備を進め、外部環境の変化に動かない強い日本をつくります。

インテリジェンス

総理官邸に国家情報局を創設し、対外情報機関を設置します。外国からの影響工作に対応して、我が国の情報収集・分析力を充実させ、正確な情報発信を強化します。

安全保障と憲法改正

サイバー防衛の抜本強化と防衛力の確実な整備を加速し、国民と主権を断固として守り抜きます。グレーゾーン事態における適切な抑止行動を可能にし、戦争をさせないための選択肢を増やすため、憲法改正に向けた取り組みを強化します。自国の運命を他国に委ねない、真に「自律」した国家の基盤を、高市総理と共に構築します。

3 公平で安心な社会の実現

社会保障制度改革

高市内閣の掲げる「**飲食料品の消費税率0%**」を早期に実現します。現役世代の社会保険料負担をこれ以上引き上げないよう、医療・介護サービスの内容を国民に見える形で棚卸しし、保険料を負担する側も医療を受ける側も納得できる負担となるよう、社会保障国民会議で開かれた議論を行います。人口構成の変化や高額医療の増加を踏まえ、現役世代の活力を削がない医療保険制度へと改革を進めます。

子育て・暮らし

働きながらの子育て・介護を支えるため、**ベビーシッターや家事支援サービスの利用支援**を拡充します。フリースクールなど多様な学びの場への支援を充実します。大学の授業料2人目までの無償化を目指します。高齢期の暮らしを守る観点から、居住している宅地の固定資産税の軽減措置の深掘りに取り組みます。

外国人政策の見直し

外国人受け入れに対する国民の不安に真摯に向き合い、**不法滞在対策等の厳格な法執行**を徹底。税・社会保障料の未納や制度悪用を根絶し、事業実態のない「経営・管理」ビザの在留者を一掃します。外国人の住宅・土地取得や所有者の把握について、法律・ルールを見直し、安全保障面等の懸念を払拭します。外国人の児童・生徒の受け入れについて、**国籍のバランスに配慮**するルールづくりを進めます。

